

イタリア大会ポラーノ・ポラーリ利用者の参加者アンケート集計結果

○性別

- 男性:4名 ●女性:3名
- ヒミツ:2名
- 不明(記入漏れ):1名

○参加形態

- 研修(聴講):8名
- 販売:1名
- 発表:1名

(集計時期R6.5月)

【各質問の回答】

Q1.会場の雰囲気はどうでしたか？

- 良かった
- 多くの人が集まっていて、びっくりしました。
- イタリアのお話をたくさんの人たちが聞いていました。
- 人が多くて緊張しました。
- 自分も発言したいと思える雰囲気でした。
- イタリアのおはなしをたくさん聞く人たちがいました。人数としては、多くいました。
- 思っていたより、積極的な人が多くて活気がありました。熱意が感じられました。
- 少し緊張感のあるなかで、活発なディスカッションがなされていて、活気があるように感じました。
- 思ったよりも参加者が多くて、皆、熱心にきいているなあと感じた。
- いろんな立場の方が、鹿児島からだけでなく、当事者・家族・専門職の方々が一同に全国から来られていて、批判も恐れずに、本音で話をされる方もいて、本当に、いろんな方がざっばらんに自由に発言をされていたので、司会や、進行の方は、困ったことや戸惑うことが多かったと思いますが、会場の雰囲気はよかった

Q2.イタリア大会に参加して何か学んだことはありますか？

- まだ日本は遅れていると思った。イタリアは理解している 鹿児島は色めがねでみている
- ほかの日本の人たちにも、現状を変えたい、よくしたいと考えている人がいらっしやると知ることができ、心強く感じました。
- イタリアの大会で、けいざのはなしや、べんろん大会の話や、いろいろな大会がほかのくにでもあるんだなあ~と思いました。
- チャオとかイタリア語。
- 販売の配置を考えるのが難しくて、これからの販売を考える学びになりました。
- イタリア大会に参加して学んだことは、けいざい関係の話が聞けました。とても興味深いお話がたくさんあったので学んで見てとても良かったです。
- ほんの少しの勇気でも大事なんだと励まされました。日本でもみんなでやれば大きなすごいことができるかもと希望を持ちました。
- イタリアの精神医療や参加者の考えを聞くことができたのが大きな学びです。
- イタリア語通訳の方がすごかったので、自分も外国語を勉強してみようと思いました。無料のアプリを入れて、マイペースで語学勉強しています。
- 日本の進行の方が、「イタリアではどうですか？」と言われた時、イタリアの方が、イタリアの考えより日本の方で、自分たちで話し合ってください。」と言われたことが、私は、イタリアの考えを聞くことも充分大切だと思うが、日本のみんなで意見を出し合って、当事者として、考えること、議論すること、いろいろな立場の人の意見・話を聞くことの重要性を学んだ。また、イタリアの方の
- 「自分は主張しないと分かってもらえない」
- 「きちんと思ったことを言うこと(権利を)主張することの重要性」
- 「熱心な少数派が現状を変えていく」
- 「大きな変革は、小さな一歩から」
- という言葉が印象に残った。(学べた)
- また、ラグーナさんと関わってこられた方が、多く参加されていたので、その方々の話を聞くことで、どう出会い、どう変わって今があるのか知ることができた。(私はお名前だけ知っていた方が多かったため)
- ピアサポーターの方の少し本音のある現状
- 参加者のある方の言葉で「自分を大切に」「自分の本当の言葉を言う」とおっしゃったことが、大変印象に残った(学びがあった)
- イタリアの方の「待っているだけでは何も起きない」「もし何かを変えたいなら、誰かが変えてくれると思うな。あなたがやれ！」という言葉がささった。

Q3.その他、感じたことや思ったことはありますか？

- 身内でもかくそうとしていて世間体を重視 本当に助けほしい時に助けてくれない
しっかり地域とのコミュニケーションをしっかりとすることが1つのステップであると感じた。SOSは自分で出すようにするが自分でできることを増やしてすることは大事だと思った。
- イタリアと日本の人を対比しないで、交流できる時間があつたらいいと思いました。
- イタリア人は、日本の文化に、たくさんきょうみをしめていました。
- イタリア人は、陽気な感じがしました。面白かったです。
- また、あつたら行きたいと思います。
- イタリアの人たちは、色んな事に興味があるんだなあと思いました。
- もう少し広い風通しのよい会場でもあればよかったと思います。発表は紙を読み上げるスタイルだったので、もう少し顔を上げながら話せたらよかったです。緊張して手がふるえてしまいました。
- まだまだブラッシュアップできる点はあると感じています。今後手伝えたらと思います。
- ピアサポーターさん達の話の時にイタリアの方が参加者全員で話しようとなつてから、少し肩の力が抜けた。その後色々な方が様々な発言をされて終わった。一方通行のように話を聞くよりも、自分で考えようという気持ちが強くなった。
- 聴講(研修)に参加しただけだったので、準備など「何か手伝えることありますか？」と言えればよかった。